

授業科目	Hospitality-service English 【講義】		開講時期	前期
担当教員	三日月 雅子		単位	2
授業の目的と概要	デジタル革命の時代にあっても、観光やビジネスの場面において一番大事なことは人と人のコミュニケーションです。多くの外国人が日本を訪れるようになった今、それらの人々との意思疎通には世界共通言語の英語が不可欠です。この授業では、「おもてなし」「接遇」を英語を通して学ぶことを目標とします。			
到達目標	航空会社の地上係員（Ground Staff）と客室乗務員（Cabin Attendant）の業務を通して英語を学びます。航空会社が提供するサービスで求められるhospitalityあふれた応対をロールプレー演習を通じて実際のシーンを学習します。航空、旅行、ホテルをはじめとするサービス業界全般における「おもてなし」を学ぶと同時に、接遇における英語での丁寧な表現・言葉遣いの習得を目指します。			
この授業が目的としているDPや関連する科目など	英 (2) -①多様な価値観を尊重し、他者とつながるための意思疎通ができる。「コミュニケーション・スキル」 英 (3) -②-1 英語を用いて適切なコミュニケーション（聞く・話す・読む・書く）を図ることができる。 ＜授業外学修＞1回の授業につき180分必要です。詳しくは学生便覧参照。 この科目は航空会社での実務経験のある教員が担当しており、「授業の目的と概要」記載どおりの実践的教育を行います。			
授業計画	授業内容	授業外学修など		
第1回 Unit 1	Listening Activity	Unit 1 Listening Activity1-1～1-3 各質問に解答する		
第2回 Unit 1	Listening Activity	Listening Activity1-1～1-3 の答え合わせ		
第3回 Unit 1	P6	GSと乗客の対話をペアワーク		
第4回 Unit 2	の前半	次回Unit 2の後半の予習		
第5回 Unit 2	の後半	次回Unit 3の前半の予習		
第6回 Unit 3	の前半	次回Unit 3の後半の予習		
第7回 Unit 3	の後半	次回Unit 6の前半の予習		
第8回 Unit 6	の前半	次回Unit 6の後半の予習		
第9回 Unit 6	の後半	次回Unit 7の前半の予習		
第10回 Unit 7	の前半	次回Unit 7の後半の予習		
第11回 Unit 7	の後半	次回Unit 8の前半の予習		
第12回 Unit 8	の前半	次回Unit 8の後半の予習		
第13回 Unit 8	の後半	次回Unit 12の予習		
第14回 Unit 12		次回前期復習について		
第15回 前期復習	(Unit 1～Unit 13)	前期試験についての説明		
成績評価	割合（％）、種類・評価基準など			
定期試験	0％：実施しない			
レポート	20％			
小テスト等	50％：ペアワークによる口頭発表を小テストとする。			
成果発表	30％：授業時の発表			
受講態度他	0％			
受講上の留意点・ルールに関わる情報	指示された課題の予習が必ず必要です。辞書を必ず持参すること。			
教科書	Hospitality English (株) Halico			
指定図書	特になし			
参考図書	適宜紹介する			
オフィスアワー	水・木・金曜日：昼休み&4限以降	メールアドレス	m-mikage@chikushi-u.ac.jp	

授業科目	日本語教材研究【講義】		開講時期	後期
担当教員	鷹野 恵		単位	2
授業の目的と概要	<p>「外国語としての日本語」を教えるための基礎知識と技能を身につけることが目的です。教材・教具は教師が授業をするうえでもっとも重要な道具です。その道具を「見る目」を身につけることを目的とします。</p> <p>授業は、プリントによって進めます。また、調べ学習、グループ学習、体験等を通した学びを目指します。また、都度、まとめのレポートを書き、自己内省（ふりかえり）をすることで、整理をしていきます。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、現場で多く採用されている日本語の教科書を題材に分析を行い、各教材の特徴を理解することができる。 ・教材の特徴を理解したうえで、使用方法についていくつかの道筋を立てることができる。 			
この授業が目的としているDPや関連する科目など	<p>日 (2) -①多様な価値観を尊重し、他者につながるための意思疎通ができる。「コミュニケーション・スキル」 日 (3) -②-2 日本語の構造や特徴に対する理解に基づいて、適切なコミュニケーションを図ることができる。 英 (2) -①多様な価値観を尊重し、他者につながるための意思疎通ができる。「コミュニケーション・スキル」 英 (3) -②-1 英語を用いて適切なコミュニケーション（聞く・話す・読む・書く）を図ることができる。</p> <p><授業外学修>1回の授業につき180分必要です。詳しくは学生便覧参照。</p> <p>この科目は日本語教員の実務経験のある教員が担当しており、「授業の目的と概要」記載どおりの実践的教育を行います。</p>			
授業計画	授業内容	授業外学修など		
第1回 教具とは何か		①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第2回 日本語教材選択の視点		①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第3回 学習者を知るーレディネス調査・ニーズ調査ー		①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第4回 教科書の構成		①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第5回 教科書の種類（一般成人・留学生、ビジネスパーソン、技術研修生、年少者）		①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第6回 教材分析（1）初級：構造シラバス		①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第7回 教材分析（2）初級：構造シラバス以外		①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第8回 教材分析（3）中級：一般成人・留学生対象		①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第9回 教材分析（4）中級：一般成人・留学生対象以外		①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第10回 教科書以外の教具ーカード類、音声教材ー		①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第11回 教材使用法検討（1）初級の場合		①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第12回 教材使用法検討（2）中級の場合		①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第13回 教材使用法検討（3）上級の場合		①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第14回 日本語教育の現状ー留学生・技術研修生・年少者・海外ー		①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第15回 まとめ		①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
成績評価	割合（％）、種類・評価基準など			
定期試験	30%			
レポート	20%（全2回）テーマは原則自由。①授業前半の内容から、②授業全体の内容から ※必ず、参考図書2冊以上を読み、引用しながら書くこと			
小テスト等	なし			
成果発表	30%（全2回）①教材分析、②教材作成			
受講態度他	20%			
受講上の留意点・ルールに関わる情報	<ul style="list-style-type: none"> ・欠席をしないようにし、積極的に授業に取り組んでください。 ・ペアまたはグループによる活動があります。相手とのコミュニケーションを積極的にとるよう心掛けてください。 			
教科書	深澤のぞみ・本田弘之（2019）『日本語を教えるための教材研究入門』くろしお出版			
指定図書	なし			
参考図書	吉岡英幸（2008）『徹底ガイド 日本語教材』凡人社 国際交流基金（2008）『教材開発』ひつじ書房			
オフィスアワー	木曜 4講：メールで連絡を事前にする	メールアドレス	m-karino@chikushi-u.ac.jp	

授業科目	Hotel and Airline English I 【演習】		開講時期	前期
担当教員	三日月 雅子・未定		単位	2
授業の目的と概要	英語はグローバル社会での基本的なコミュニケーション・スキルです。実践的で必要な英語力を身に付けることこそ重要な課題です。この授業では、AirlineとHotel業界で用いられる英語に特化した学習を主軸とし、それに加えて海外旅行で必要とされる英語表現等の学習を目的とします。英語で不自由する理由の1つに、遭遇する各場面での対処の仕方に不慣れであり、その場面で必要な表現を知らないことが挙げられます。授業では、私たちが海外旅行で遭遇する様々な場面での「役に立つ実践的な英語」を学習し、空港、飛行機内、ホテル、旅行などで使われる基本的なリスニングとスピーキングを効果的に学び、コミュニケーションスキルの向上を目指します。授業は主としてペアワークでの口頭発表です。			
到達目標	近い将来、留学や海外旅行を計画している学生に対して、即戦力としての役立つ旅行英語を習得することを目標にします。また、卒業後に航空業界、旅行業界、ホテル業界への就職に興味がある学生、そしてTOEICのリスニング力をアップさせたい学生にとってのスキルアップもできます。			
この授業が目的としているDPや関連する科目など	英 (3) -①自己にふさわしいキャリアを構想できる。「キャリアを構想する力」 英 (3) -②-1 英語を用いて適切なコミュニケーション (聞く・話す・読む・書く) を図ることができる。 <授業外学修>1回の授業につき180分必要です。詳しくは学生便覧参照。 この科目は航空会社での実務経験のある教員が担当しており、「授業の目的と概要」記載どおりの実践的教育を行います。			
授業計画	授業内容		授業外学修など	
第1回 Warm-up	パワーポイントの資料(1)を視聴		英文shadowing	
第2回 Warm-up	パワーポイントの資料(2)を視聴		英文shadowing 次回のUnit 1 Prologue Listening の予習	
第3回 Unit 1 Prologue-Before you start	Listening 1-3		課題 Short Listening topic 1-3の各問題に解答	
第4回 Unit 1 Prologue	Listening topic 1-3 答え合わせ		Unit 1 Prologue Listening topic 1の暗記-Zoom授業の準備	
第5回 「Zoom」	Unit 1 Prologue Listening & Speaking Activity		Dialogue ペアワーク実施	
第6回 Unit 1	Reading&Tip 読解-課題提出		課題 Unit 2 Short Listening topic 1-3の各問題に解答	
第7回 Unit 2	On an Airplane のListening & Speaking		次回Listening topic 1-3の暗唱とペアワーク準備	
第8回 Zoom	Listening topic 1-3の暗唱とペアワーク		課題 Unit 3 Short Listening topic 1-3の各問題に解答	
第9回 Unit 3	Landing at Honolulu AirportのListening & Speaking		次回Listening topic 1-3の暗唱とペアワーク準備-Zoom授業の準備	
第10回 Zoom-	Unit 3 Listening topic 1-3の暗唱とDialogueのペアワーク		課題 Unit 4 Short Listening topic 1-3の各問題に解答	
第11回 Unit 4	Transit at Honolulu Airport のListening & Speaking		次回 Listening topic 1-3の暗唱とペアワーク準備-Zoom授業の準備	
第12回 Unit 4	Listening topic 1-3の暗唱とDialogue のペアワーク		課題	
第13回 Unit 7	Hotel--Checking in のReading&Tip		課題 Reading&Tipの予習(読解)	
第14回 前期復習	(Unit 1 ~Unit 7)		試験に向けての復習	
第15回 前期復習	(Unit 1 ~Unit 7)		試験に向けての説明	
成績評価	割合(%)、種類・評価基準など			
定期試験	0%:実施しない			
レポート	20% 課題提出			
小テスト等	20%			
成果発表	50%:Zoomでのペアワークと英文暗唱を評価する			
受講態度他	10%:Zoomでの発表等による評価する			
受講上の留意点・ルールに関わる情報	テキストに沿った予習が必ず必要です。さらに、毎回の授業で英語表現を暗記して発表することが求められます。			
教科書	著者:三日月 雅子 Fly across the Borders 出版社名:松柏社 ISBN 978-4-88198-685-1			
指定図書	特になし			
参考図書	特になし			
オフィスアワー	水・木・金曜日:昼休み&4限目以降		メールアドレス	

授業科目	Hotel and Airline English II 【演習】		開講時期	後期
担当教員	三日月 雅子・未定		単位	2
授業の目的と概要	英語はグローバル社会での基本的なコミュニケーション・スキルです。必要な実践的英語力を身に付けることこそ重要な課題と言えます。後期のこの授業では、前期に引き続きAirlineとHotel英語に特化した学習に加えて、海外旅行で必要とされる英語表現等の学習を目的とします。英語で不自由する理由の1つに、遭遇する各場面での対処の仕方に不慣れであり、その場面で必要な表現を知らないことが挙げられます。授業では、私たちが海外旅行の際に遭遇する様々な場面での「役に立つ実践的な英語」を学習し、旅行およびホテル英語の基本的なリスニングとスピーキングを効果的に学び、コミュニケーションスキルの向上を目指します。後期の授業では、前期の基本表現の精度をさらに深めて、「本当に役に立つ実践的旅行英語」の学習にさらに力を入れたいと思います。授業は主としてペアワークでの口頭発表です。			
到達目標	近い将来、留学や海外旅行を計画している学生に対して即戦力としての役立つ旅行英語を習得することを目標とします。また、卒業後に航空業界、旅行業界、ホテル業界への就職に興味がある学生、そしてTOEICのリスニング力をアップさせたい学生にとってのスキルアップもできます。			
この授業が目的としているDPや関連する科目など	英 (3) -①自己にふさわしいキャリアを構想できる。「キャリアを構想する力」 英 (3) -②-1 英語を用いて適切なコミュニケーション (聞く・話す・読む・書く) を図ることができる。 <授業外学修>1回の授業につき180分必要です。詳しくは学生便覧参照。 この科目は航空会社での実務経験のある教員が担当しており、「授業の目的と概要」記載どおりの実践的教育を行います。			
授業計画	授業内容	授業外学修など		
第1回 前期授業の復習と後期授業の説明		次回	Unit 8 Staying at Hotelの予習	
第2回 Unit 8 Staying at Hotel : Listening&Speaking		課題	Listening&Speakingの暗記	
第3回 Unit 8 Staying at Hotel : Reading&Tip		課題	Reading&Tipの予習(読解)	
第4回 Unit 11 Food and Drink : Listening&Speaking		課題	Listening&Speakingの暗記	
第5回 Unit 11 Food and Drink : Reading&Tip		課題	Reading&Tipの予習(読解)	
第6回 Unit 12 At the Restaurant : Listening&Speaking		課題	Listening&Speakingの暗記	
第7回 Unit 12 At the Restaurant : Reading&Tip		課題	Reading&Tipの予習(読解)	
第8回 Unit 13 Shopping : Listening&Speaking		課題	Listening&Speakingの暗記	
第9回 : Unit 13 Shopping : Reading&Tip		課題	Reading&Tipの予習(読解)	
第10回 Unit 14 Hotel-Checking out : Listening&Speaking		課題	Listening&Speakingの暗記	
第11回 Unit 14 Hotel-Checking out : Reading&Tip		課題	Reading&Tipの予習(読解)	
第12回 Unit 15 Going back Home : Listening&Speaking		課題	Listening&Speakingの暗記	
第13回 Going back Home : Reading&Tip		課題	Reading&Tipの予習(読解)	
第14回 後期復習(Unit 8~15)		試験に向けての総復習		
第15回 後期復習(Unit 8~15)		試験に向けての学習について説明		
成績評価	割合(%)、種類・評価基準など			
定期試験	60% : 定期試験			
レポート	なし			
小テスト等	なし			
成果発表	20% : ペアワークによる口頭発表			
受講態度他	20% : 出席状況および発表等による授業への参加を考慮			
受講上の留意点・ルールに関わる情報	テキストに沿ったの予習が必要です。さらに、毎回の授業で英語表現を暗記することが求められます。			
教科書	著者 : 三日月 雅子 Fly across the Borders 出版社名 : 松柏社 ISBN 978-4-88198-685-1			
指定図書	特になし			
参考図書	特になし			
オフィスアワー	水・金曜日 : 昼休み&4限目以降	メールアドレス		